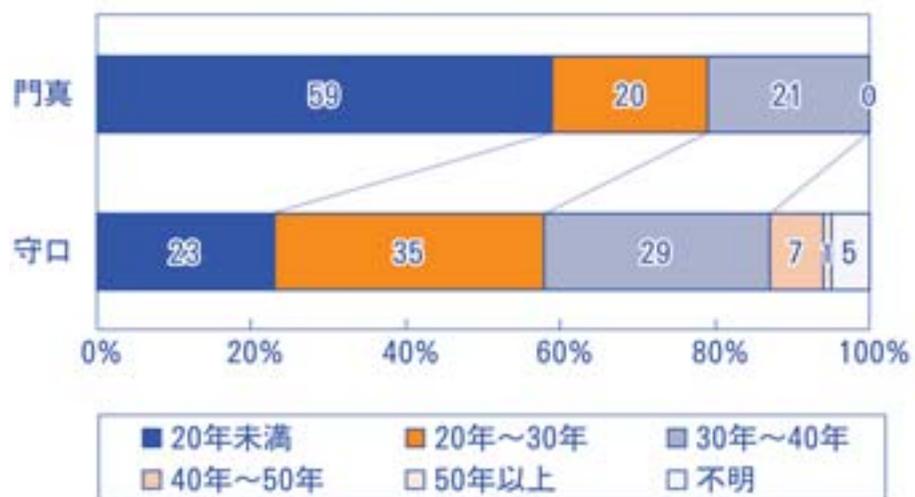


情報隠さず市民の疑問に答えるべきです

「合併の是非は住民投票で」が大きな流れ

「合併の是非住民が判断」「03年の住民投票116件」（朝日新聞1月1日付）市町村合併の是非などを「住民投票」で住民自身が判断することが全国で大きなうねりとなっています。第11回目の協議会で住民意向の把握方法について「市民が自らの手で決定していくという実感を」など、委員から住民投票実施に積極的な意見が出されています。市の将来を大きく左右する門真・守口の合併問題について、是非を合併協議会や議会だけで決めるのではなく、市民に判断材料を示し、市民自身が決めることがいよいよ重要となっています。

下水道管の状況(経過年数)



第9回目の協議会の清掃部会では、守口で既に廃止されている3号炉の撤去費用について質疑があり、守口市の理事者は堺市の例を挙げ「3億5000万ぐらい最低かかる」と答弁しました。しかし、実は3号炉の撤去費は昨年1月30日、守口の合併問題調査特別委員会で「10億7600万円」と明確に答弁されていることが明らかになりました。見積書をもとに守口の特別委員会で答弁しながら、合併協議会では他市の例を持ち出し約3分の1の額の答弁をするというきわめて不自然なものです。

「技術革新」と言い訳をしていますが、その具体的な根拠も協議会には示せませんでした。両市の今後の負担の問題についてこのような情報隠しは許せません。

焼却炉の撤去費問題で情報隠し?

守口の特別委員会では「10億7600万円」
合併協議会では「3億5000万円前後」と答弁

門真市は「このままでは住民サービスの維持が困難」とし、守口市との合併の方向を強めています。守口市・門真市合併協議会は「合併の是非についても協議する」ということで設置されましたが、これまでの12回の協議では十分な協議が保障されず、国が決めた来年3月の合併期限までに間に合わせようと、採決などで協議を急いでいます。門真・守口の合併は市民にとってどんなメリット、デメリットがあるのか。まちづくりのビジョンは…。市民のみなさんからは様々な声が寄せられています。

市民の関心事は先送り

- ・ 下水道整備はすすむの？
- ・ 中学校給食はどうなるの？

市役所の位置はどこに、上下水道料金や整備はどうなるのかなど、市民の関心事については協議が先送りされ、不安や疑問の声が出されています。

浸水対策など公共下水道の整備は門真において切実です。（整備率約76％）しかし、早くから下水道が整備され、老朽管の改修が大きな課題となっている（下水道管の状況参照）守口市との合併で「下水道整備が進まないのでは」との強い不安の声も寄せられています。料金についても協議事項にあがっていません。

「中学校の学校給食を残して欲しい」門真のお母さんの切実な声です。守口市には中学校給食がありません。「中学校給食がなくなるのなら合併は反対」とお母さんの声が圧倒的です。これらのサービス切捨てには反対です。



重要問題先送りで「財政立ち直る」は無責任です

合併しなければ「財政再建団体」といいますが

第6回合併協議会では、事務局が両市合併した場合としない場合の財政見直しを示し、このままでは、合併しなければ守口市が平成19年、門真市でも平成20年には財政再建団体に陥り、合併すればそれが回避できると説明し、合併への選択を迫りました。

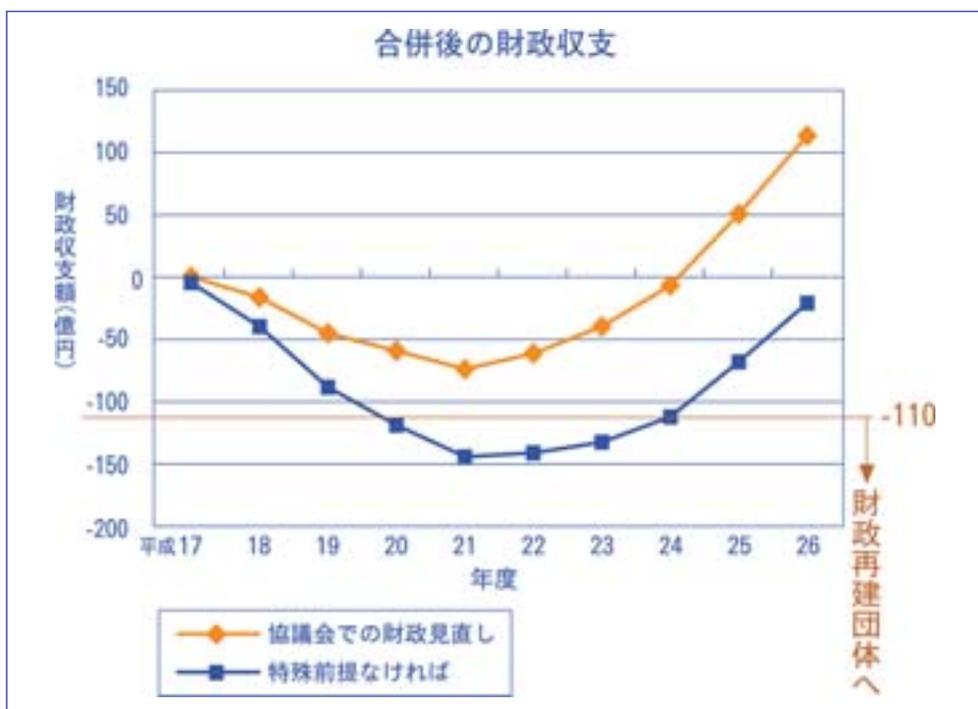
財政問題をテコに 合併押しつけはゴメンです

しかし、この財政収支見直しはいくつかの前提があります。そのひとつに合併時に勧奨退職で職員を1000名削減するというものです。しかし、合併時は様々な事務作業などがあり、スムーズな新市への移行のためには職員は減らせません。さらに財政収支見直しでは「合併に伴うハコ物建設など」に対して許される「合併特例債」を、合併しなくても行なう事業に6割以上も振替るといふ都合のいい計算をしています。

こういった前提がなければ、下記に示したグラフのように、合併しても財政再建団体の可能性もあります。



合併協議会(門真市保健福祉センター)



は、これまでの両市の財政運営の総括なしにそのつけを「合併」に押し付けるものに他なりません。

財政再建は合併に頼らず 民主的な行財政運営で

財政再建は税金等の使途を市民に明確にし、真に民主的で効率的な行財政運営を行うことが大切です。そのために市民不在でバブル期に策定された「南部地域整備大綱」などの開発計画を見直すことが強く求められています。

市民不在の門真、守口の合併には反対です

日本共産党門真市会議員団は合併問題について「国押付け」「市民不在」の合併には反対の立場をとり、党として情報を市民に知らせ、合併協議会にも市民の声を届けてきました。しかし、これまでの12回の協議の中で充分な議論なしに質疑の打ち切りや採決の強行が行なわれ、重要な協議項目が先送りされた

り、正確な情報が明らかにされない状況もあります。こうしたことから「このような門真市と守口市の合併には『市民の暮らしを守る』という点から明確に反対の立場を表明」(03年12月18日、日本共産党門真市委員会)しました。



吉松 正憲



亀井あつし



中西みよ子



福田 英彦



井上まり子